

多摩都市モノレールのおきる野市方面への延伸の実現を求める意見書

多摩都市モノレールは全延長93キロメートルの環状路線構想であるが、現在開通しているのは多摩センター駅から東大和市の上北台駅までの約16キロメートルである。加えて、上北台駅から瑞穂町箱根ヶ崎までのルートについて、東京都は2022年度に基本設計を完了し、2032年頃には箱根ヶ崎まで延伸が実現する予定と聞いている。

箱根ヶ崎までの延伸が現実味を帯びたことを受け、市民団体である「モノレールを呼ぼうおきる野の会準備会」は、延伸実現を求める署名活動を行い、2万2320筆を集めた。

延伸の目的は、将来のおきる野市及び多摩地域全体の発展、また、将来のおきる野市民、多摩地域の住民の、より快適で充実した暮らしである。おきる野市と羽村市、瑞穂町、武蔵村山市、東大和市、立川市、日野市、多摩市、町田市、八王子市を環状につなぐ公共交通網を実現することは、当市はもとより多摩地域にとって経済や観光の活性化、産業振興、人口の増加、市民の生活利便性の向上などの効果があると考え

る。よって、おきる野市議会は、国及び東京都に対し、おきる野市方面へのモノレール延伸の実現を図ることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和4年6月23日

東京都おきる野市議会
議長 中嶋博幸

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 国土交通大臣 東京都知事